

令和 2 年 3 月 31 日
気象庁地球環境・海洋部

配信資料に関する仕様 No. 30201

～沿岸波浪観測報～

気象庁では、全国 6 地点に設置している沿岸波浪観測計の毎正時の観測データを、沿岸波浪観測報として配信しています。沿岸波浪観測計は、水平方向 30 度毎に 6 方向を向いたアンテナから順番に電波を発射して、アンテナの方向ごとに波浪を測定します。1 方向の測定は約 2 分間で、15 分間に 6 方向を走査し、これを 3 回繰り返した結果を平均処理して波浪の観測値（有義波の周期及び波高、最大波の周期及び波高）として配信しています。

1. 配信する電文の形式

A/N 電文形式

2. 配信時刻

毎時 00 分

3. 配信電文ヘッダ

ハウケI aaaaaa YYGGgg

① ② ③

①冒頭符号,「ハウケI」で固定

②観測実施官署名, 観測地点名との対応は別紙 1 を参照

③観測時刻 (協定世界時), YY は日の 10 位及び 1 位, GG は時の 10 位及び 1 位, gg は分の 10 位及び 1 位

4. フォーマット

電文のフォーマットは国内気象通報式「J M304 沿岸波浪観測通報式」に準拠しています。「J M304 沿岸波浪観測通報式」の詳細は、別紙 2 を参照願います。

※ 国内気象通報式は次の URL をご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsuhoshiki/kokunai/kokunai3_31.pdf

5. 利用上の注意事項

- (1) 通信回線の障害等により観測時刻を過ぎたデータについては、再配信を行いません。
- (2) 軽微な点検作業等については、事前連絡は行いません。

別紙 1 沿岸波浪観測計 観測地点及び観測実施官署一覧

観測地点名	観測実施官署名	位置		所在地
		北緯	東経	
上ノ国	ハコダテ	41 度 48 分 09 秒	140 度 04 分 16 秒	北海道檜山郡上ノ国町
唐 桑	センダイ	38 度 51 分 30 秒	141 度 40 分 25 秒	宮城県気仙沼市
石廊崎	シラカ	34 度 36 分 11 秒	138 度 50 分 39 秒	静岡県賀茂郡南伊豆町
経ヶ岬	キヨウ	35 度 46 分 38 秒	135 度 13 分 25 秒	京都府京丹後市
生月島	ナガサ	33 度 26 分 23 秒	129 度 25 分 49 秒	長崎県平戸市
屋久島	カクシ	30 度 13 分 57 秒	130 度 33 分 22 秒	鹿児島県熊毛郡屋久島町

別紙2 J M304「沿岸波浪観測通報式」の詳細

通報形式

IIiii N_pYYGG 00_bN_wN_wN_w 1P_sP_sP_sP_s 2H_sH_sH_sH_s 3P_xP_xP_xP_x 4H_xH_xH_xH_x

注

- (1) この通報式は、沿岸波浪観測の資料の通報に用いる。
- (2) データ種類コードは**ハロウケイ**を用いる。

規則

304.1

各群は必ず通報し、障害により通報しない資料のあるときは、その資料に対応する符号に斜線 (/) を報ずる。

304.2

IIiii 群, N_pYYGG 群

IIiii 群には観測実施官署の国際地点番号を報じ、観測地点は IIiii と N_p の組み合わせにより識別する。

304.3

00_bN_wN_wN_w 群

波数の出力値が 20 未満、又は資料の収集時間が 10 分未満の場合は、N_wN_wN_w=///と報ずる。

304.4

1P_sP_sP_sP_s 群, 2H_sH_sH_sH_s 群

次の (a) ~ (c) 項のいずれかに該当する場合は、1P_sP_sP_sP_s 群及び 2H_sH_sH_sH_s 群はそれぞれ 1//// 及び 2//// と報ずる。

- (a) 有義波の周期の出力値が 30 秒以上のとき。
- (b) 波数の出力値が 20 未満のとき。
- (c) 資料の収集時間が 10 分未満のとき。

304.5

3P_xP_xP_xP_x 群, 4H_xH_xH_xH_x 群

次の (a) ~ (d) 項のいずれかに該当する場合は、3P_xP_xP_xP_x 群及び 4H_xH_xH_xH_x 群はそれぞれ 3//// 及び 4//// と報ずる。

- (a) 最大波の周期の出力値が 30 秒以上のとき。
- (b) 最大波の波高の出力値が有義波の波浪の出力値の 3 倍以上のとき。
- (c) 波数の出力値が 20 未満のとき。
- (d) 資料の収集時間が 10 分未満のとき。

符号解説

II	観測実施官署のブロック番号－国際地点番号表による
iii	観測実施官署の地点番号－国際地点番号表による
N_p	観測地点の識別符号 (1) 実施官署と観測地点の地名が同一の場合は $N_p=0$, 異なる場合は $N_p=/$ (斜線) とする
YY	観測の日付－協定世界時による日の 10 位及び 1 位
GG	観測時刻－協定世界時による時の 10 位及び 1 位
0	障害及び波数の群の指示数字
O_b	障害の種別－別表 1
$N_w N_w N_w$	全正常域の波数
1	有義波の周期の群の指示数字
$P_s P_s P_s P_s$	有義波の周期－0.1 秒単位
2	有義波の波高の群の指示数字
$H_s H_s H_s H_s$	有義波の波高－1cm 単位
3	最大波の周期の群の指示数字
$P_x P_x P_x P_x$	最大波の周期－0.1 秒単位
4	最大波の波高の群の指示数字
$H_x H_x H_x H_x$	最大波の波高－1cm 単位

別表 1

O_b	障害の種別
0	異常域なし } 20 分間の資料を収集
1	
2	異常域なし } 資料の収集時間は 10 分以上 20 分未満
3	
4	} 使用しない
5	
6	
7	以下の①, ②のいずれかが該当する ① 最大波の波高の出力値が有義波の波高の出力値の 3 倍以上である ② 有義波, 1/10 最大波, 最大波のいずれかの周期が 30 秒以上である
8	波数が 20 未満
9	資料の収集時間が 10 分未満